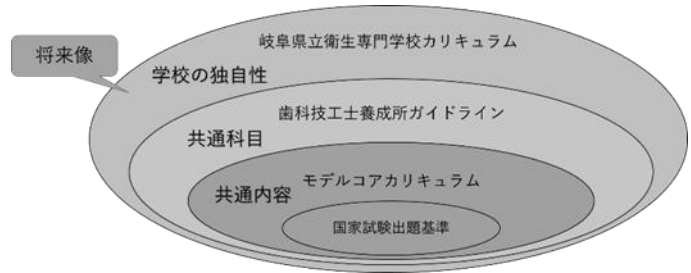


I 歯科技工学科の学び

1 歯科技工士教育

歯科技工士の教育は、図のように4つの基準によって定められている
本校の理念・目的に基づいて学校の独自性が定められている

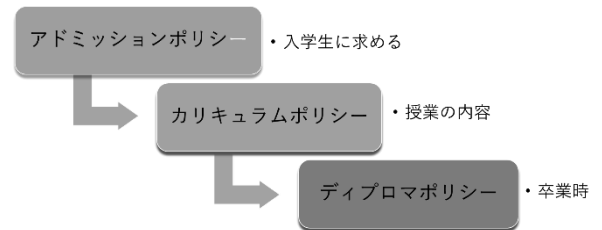


2 3つのポリシー

学校の独自性は、3つのポリシーによって定められている。

- ・アドミッションポリシー
- ・カリキュラムポリシー
- ・ディプロマポリシー

2年間どの科目をどのような内容で、いつ学ぶかを定めている



3 科目の理解

学ぶ科目は、基礎科目、専門基礎科目、専門科目に分けられている

本校が目指す歯科技工士に必要な学習内容が準備されている (P2を参照)

基礎科目の外国語、倫理学、医学と社会学など関わりが解りにくいのが、必要と考

また、学内研修として授業科目以外に必要な学習をする機会がある

4 単位制

本校は、単位制となり卒業までに65単位すべてを習得する必要がある

1単位は45時間で学べる学習内容として計画されている

学科目の授業時間は、15~30時間、実習は30~45時間となっている

45時間に満たない時間は、予習・復習またはレポート作成など**家庭学習**の時間となる

5 受講姿勢

授業開始直後から専門科目が始まるため、専門用語など日常的に使用される

復習など行い、その日の授業内容を理解しながら進めることが重要である

専門学校は、高等学校までと異なり高等教育のため**自ら学習することを基本**としている

授業の理解、疑問の解消などは試験のための学習でなく、医療に必要な「**知識**」として学ぶ

実習は、基本的に校内で行なうが、基礎技術の反復習得は「**技術**」の向上に必要である
医療技術者として求められる「**態度・姿勢**」の学習も非常に大切である

合わせて在学中に「**社会人基礎力**」の習得に取り組みましょう

6 目的と目標

2年間で本校の目指す歯科技工士に向けて必要な「知識」、「技術」、「態度・姿勢」を学ぶ
これらを**計画的に学習**できるよう取り組みましょう

- ・歯科技工士教育：試験や実習物の完成と学習の深度や技術力の向上など短期・中期の学習
- ・キャリア教育：卒業後の長期計画に必要な学習

Ⅱ 授業科目および時間数

科 目			講義		実習		第一学年				第二学年				
			単位数	時間数	単位数	時間数	講義		実習		講義		実習		
							単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	
基礎分野	科学的思考の基盤人間と生活	外国語Ⅰ	1	15			1	15							
		外国語Ⅱ	1	15							1	15			
		造形美術	1	30			1	30							
		情報リテラシー	1	30							1	30			
		コミュニケーション論	1	15			1	15							
		倫理学	1	15			1	15							
		医療と社会学	1	15			1	15							
		経営学	1	15							1	15			
小 計			8	150			5	90			3	60			
専門基礎分野	歯科技工と歯科医療	歯科技工学概論	1	15			1	15							
		歯科技工に関わる基礎歯学	1	15							1	15			
		関係法規	1	15							1	15			
	歯・口腔の構造と機能	歯と口腔の組織・解剖学	1	30			1	30							
		歯と歯列の解剖学	1	30			1	30							
		歯冠形態表現Ⅰ			1	45			1	45					
		*歯冠形態表現Ⅱ			1	45			1	45					
		*歯冠形態表現Ⅲ			1	45							1	45	
		顎口腔機能学	1	30							1	30			
		顎口腔機能学実習			1	45							1	45	
	歯科材料・歯科技工器械と加工技術	材料・器械工学Ⅰ	1	30			1	30							
		材料・器械工学Ⅱ	1	30			1	30							
		材料・器械工学Ⅲ	1	30							1	30			
		材料・器械工学Ⅳ	1	30							1	30			
		材料・器械工学実習Ⅰ			1	45			1	45					
		材料・器械工学実習Ⅱ			1	30							1	30	
		加工技術基礎	1	30			1	30							
	小 計			11	285	6	255	6	165	3	135	5	120	3	120
	専門分野	有床義歯工学	全部床義歯工学概論	1	30			1	30						
			全部床義歯工学各論	1	30			1	30						
無歯顎の印象採得に関わる歯科技工					1	45			1	45					
*無歯顎の完成義歯に関わる歯科技工					2	90			2	90					
*義歯の安定に関わる基本技術					1	45							1	45	
部分床義歯工学概論			2	60			2	60							
部分床義歯工学各論			1	30			1	30							
部分欠損の印象採得に関わる歯科技工					1	45			1	45					
部分欠損の完成義歯に関わる歯科技工					2	90			2	90					
歯冠修復工学			歯冠修復工学概論	1	30			1	30						
		歯冠修復工学各論Ⅰ	1	30			1	30							
		歯冠修復工学各論Ⅱ	1	30			1	30							
		被覆冠に関わる歯科技工			1	45			1	45					
		デンポラリークラウンに関わる歯科技工			1	30			1	30					
		部分修復に関わる歯科技工			1	45			1	45					
		前装冠に関わる歯科技工			1	45			1	45					
		原型製作技術			1	30			1	30					
		*連続する修復に関わる歯科技工			1	45			1	45					
		ブリッジに関わる歯科技工			2	90			2	90					
矯正歯科技工学		セラミックスに関わる歯科技工			1	45							1	45	
		デジタル技工に関わる歯科技工			1	30							1	30	
		矯正歯科技工学	1	30							1	30			
		矯正歯科に関わる歯科技工			1	30							1	30	
		小児歯科技工学	小児歯科技工学	1	15			1	15						
			小児歯科に関わる歯科技工			1	30			1	30				
		歯科技工実習	*全部床義歯に関わる歯科技工			1	45							1	45
			咬合採得に関わる歯科技工			1	45							1	45
			部分床義歯に関わる歯科技工Ⅰ			1	45							1	45
			*部分床義歯に関わる歯科技工Ⅱ			1	45							1	45
金属床義歯に関わる歯科技工					1	45							1	45	
支台築造に関わる歯科技工				1	45							1	45		
歯冠修復に関わる歯科技工Ⅰ				1	45							1	45		
*歯冠修復に関わる歯科技工Ⅱ				1	45							1	45		
*審美性を考慮したブリッジに関わる歯科技工				1	45							1	45		
*審美に関わる歯科技工				1	45							1	45		
小 計			10	285	30	1260	9	255	15	630	1	30	15	630	
総 合 計			29	720	36	1515	20	510	18	765	9	210	18	750	

上記の表で、網掛け*印はついた科目は、履修条件がある科目となります。
詳細は、各科目のシラバスに明記されています。

令和8年度歯科技工学科 行事計画

岐阜県立衛生専門学校

年	月	日	曜	摘 要	備 考
8	4	8	水	入学式・始業	全校
8	4	9	木	ガイダンス	1, 2学年
8	4	17	金	防災訓練	全校
8	4	21	火	健康診断	全校
8	7	16	木	特別講義	1学年
8	7	21	火	特別講義	2学年
8	7	25	金	夏季休業開始	全校
8	8	31	日	夏季休業終了	全校
8	9	1	月	授業開始	全校
8	9	24	木	球技大会	全校
8	10	15	木	特別入学試験	全校
8	11	1	日	課外授業（ぎふ市民健康祭り）	1学年
8	11	8	日	課外授業（岐阜県歯科医学大会）予定	2学年
8	12	24	木	文化祭	全校
8	12	25	金	冬季休業開始	全校
9	1	7	木	冬季休業終了	全校
9	1	8	金	授業開始	全校
9	1	14	木	一般入学試験	全校
9	2	14	日	歯科技工士国家試験 予定	2学年
9	3	2	火	卒業式	全校
9	3	19	金	終業	1学年
9	3	20	土	春季休業開始	全校